シルバーがんじゅう

発　刊
第 27 号

(公社)糸満市シルバー人材センター
沖縄県糸満市字兼城471番地の2
TEL(098)992-1007
FAX(098)992-1002

糸満漁港風景（平成26年）

シルバー人材センター事業の
基本理念

- 自主…自分のものとして考え
- 自立…自分たちの力で育てる
- 共働…一緒になって働き
- 共助…お互いに助けあう

平成二十六年度　定時総会開催

ごあいさつ

玉城一春理事長

平成二十六年度の総会にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。公益社団法人糸満市シルバー人材センターの平成二十六年度定時総会を、多くの会員の皆様と共に開催出来ますことを感謝申し上げます。また、参加いただきましたご来賓の皆様、公務ご多忙の中、ご臨席を賜りまことに有り難うございます。更に、県内シルバー人材センターからは、多くの役職員の皆様のご出席もいただいております。

皆様方には、日頃からシルバー事業の推進に、ご指導いただいておりますことに感謝申し上げます。さて、超高齢化社会へ移行している我が国において、地域の活力や経済活動を維持していくには、高齢者の社会参加が不可欠となり「健康で働く意欲がある限り働き続けることができる社会」づくりを推し進めているところです。このような中、シルバー人材センターは、働くことを通じて社会参加を促進することにより、高齢者の健康増進や生きがいの充実を図るとともに、地域社会に貢献する公益社団法人としてその果たす役割は、益々重要となり、寄せられる期待も大きくなっております。このような社会の要請にこたえるため、就業だけではなく、サークル活動、ボランティア活動など社会参加を推進することにより、高齢者の多様なニーズに対応する「働く高齢者のワンストップサービスセンター」をめざして、魅力あるセンター作りに取り組んで参りました。しかしながら、シルバー事業を取り巻く社会情勢は、年々厳しくなっており、景気の低迷や自治体の行財政改革による契約の見直しなど様々な変動要因が生じてきております。後ほど事務局より詳しい説明があると思いますが、糸満市シルバー人材センターも事業実績を伸ばすことが出来ませんでした。その要因を分析し、今後の事業発展につなげていきたいと思います。

会員が自ら就業時の安全を確保することにより、事故に繋がらないことこそ、会員一人一人が常に心がけることであり、全員で安全就業に心がけるよう努めて参りましょう。そのことがシルバーの目的の一つである「健康で働く」と言うことであります。今年もまた、多くの事業を実施して参りますが、シルバー事業の運営は会員皆様の協力なしでは成り立ちません。これからも糸満市シルバー人材センターの発展のために取り組んで頂きますようお願い申し上げます。結びに、会員の皆様並びに関係各位のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ挨拶と致します。

平成26年度公益社団法人糸満市シルバー人材センターの定時総会が五月二十八日（水）糸満市農村環境改善センターで開催されました。

来賓として上原裕常糸満市長、徳元敏之市議会議長の名代として新垣新副議長、名嘉元甚勝県シルバー人材センター連合会長からご祝辞を賜わりました。

平成二十六年度　事業計画

一、就業機会の確保、拡大
企業や公共、一般家庭から高齢者向きの仕事の受注の拡大。指定管理制度の積極的な活用。

二、職業紹介事業
雇用による就業を希望する会員及び高齢者を対象に、職業紹介による窓口の開設と就業機会の提供。

三、一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）
派遣による就業を希望する会員に、一般労働者派遣事業による就業機会の提供。

四、技能講習の開催
会員の技能等の向上を図るため、技能講習会等を開催。

五、普及啓発
高齢者の本事業に対する意識啓発入会の促進や各種イベントへの参加、普及啓発促進月間（十月）における市民及び発注者への啓発活動。市の主催する各種行事への参加。会報がんじゅうの発行（年一回）

六、安全・適正就業の推進
会員の安全と適正就業を推進するため安全大会と安全委員会の開催。

七、調査研究
高齢者の就業拡大を図るため、事業状況の分析と研究。

八、就業分野の開拓・拡大
会員の就業機会の拡大を図るため地域ニーズに対応する仕事の提案などにより積極的な就業を開拓。

九、相談・情報提供
高齢者の相談等に応えるため、入会説明会や毎月第二月曜日の相談日の実施。

十、社会参加活動の推進
高齢者の社会活動を推進するため市民清掃日や慰霊の日に向けての草刈り及びボランティア活動等の推進。

総会風景スナップ

平成26年度役員紹介

上原裕常糸満市長

議長代行新垣　新　副議長

県シルバー連合名嘉元甚勝会長

総会風景

２部交流会（緊張もほどいて…）

２部・日舞（寿酒）有田富江さん

総会前景（糸満市農村環境改善センター）２部交流会幕開け

２部・久部良大漁音頭 民舞同好会の皆さん

２部・尽くせる喜び　民舞同好会の皆さん

事　業　実　績

（１）受託事業月別実績表

実績 / 年月	受託件数 公共	企業	一般	計	就業 実人員	延人員	契約金額 配分金	材料費等	事務費	計
平成 25	件	件	件	件	人	人	円	円	円	円
4月	13	54	34	101	226	2,113	7,992,922	603,531	1,119,762	9,716,215
5月	14	48	28	90	242	2,319	8,885,716	659,417	1,253,043	10,798,176
6月	16	49	43	108	242	2,560	10,055,578	882,455	1,398,233	12,336,266
7月	20	67	35	122	258	2,639	10,175,357	1,270,342	1,439,173	12,884,872
8月	16	51	66	133	238	2,510	9,772,309	842,436	1,383,379	11,998,124
9月	17	50	34	101	239	2,397	9,324,520	551,943	1,315,945	11,192,408
10月	15	51	38	104	239	2,549	9,923,386	424,783	1,393,303	11,741,472
11月	18	61	39	118	253	2,658	10,687,836	2,589,380	1,495,366	14,772,582
12月	16	53	73	142	237	2,612	9,901,806	683,144	1,400,179	11,985,129
平成 26										
1月	15	48	29	92	230	2,312	8,960,578	268,894	1,264,502	10,493,974
2月	19	63	42	124	256	2,665	10,611,712	2,214,425	1,513,754	14,339,891
3月	17	59	34	110	235	2,892	11,579,120	285,092	1,655,687	13,519,899
合　計	196	654	495	1,345	334	30,226	117,870,840	11,275,842	16,632,326	145,779,008

平成26年度 春季グラウンドゴルフ大会開催

恒例のグラウンドゴルフ大会が５月17日(土)に開催されました。梅雨の時期という事もあり、グラウンドの状態が気になりましたが、早朝から参加された会員の皆様の楽しそうな表情にはグラウンドコンディションなどどうでもいいご様子。普段の仕事を忘れて、シルバーパワー全開の意気込みです。はじめに玉城一春理事長の挨拶があり、準備運動を済ませ、いざ勝負は時の運！大会の目的は会員同士の親睦とゆるぎないシルバー仲間の絆です。

～成　績　発　表～

男子優勝	玉　城　正　一
２位	仲　村　　宏
３位	金　城　正　輝
女子優勝	山　田　晴　子
２位	大　城　房　子
３位	上　原　洋　子
ブービー賞	宮　良　哲　也

～ホールインワン賞～

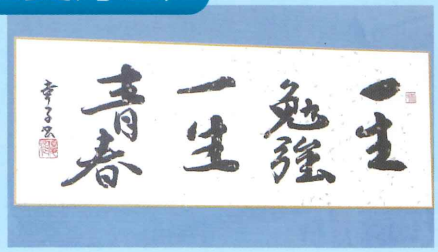
上　原　洋　子(２回)
伊　敷　悦　雄
与那嶺　清　春
金　城　正　輝
山　田　晴　子

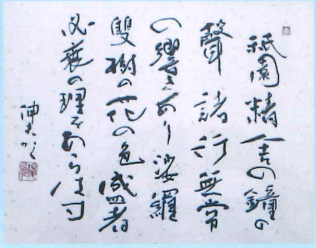
～飛　び　賞～

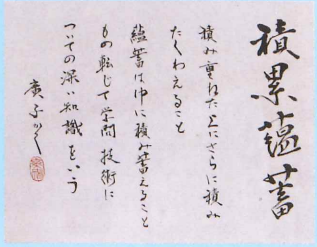
・金城　秀盛　・根間　正吉
・上原　英俊　・翁長　朝昌
・大城　　榮　・大城　亀助
・城島　正雄　・伊敷　亀吉
・上原正太郎　・金城　賢榮
・西平　恭一

ふれあいピクニック

書道愛好会







平成26年度
安全・適正就業推進大会

とき：平成26年7月14日(月)　ところ：糸満市農村環境改善センター
公益社団法人　糸満市シルバー人材センター

全国安全統一スローガン

見逃すな　ヒヤリで済んだ　あの経験

大城　敦 氏

中山　聡子 氏

又吉　琢己 氏

糸満市シルバー人材センターの事故発生状況の分析の報告を安全就業推進員の宮城力氏が行い、高齢者の健康管理「気をつけよう！熱中症」と題して糸満市健康推進課保健師・中山聡子氏の講話と、「受けよう特定検診」と題して予防係副主査又吉琢己氏の講話、最後に、NPO 法人沖縄県健康づくり協会・ダブルピース理事長・大城敦氏は「願寿体操」を行い、和気藹々の中大会を終了しました。

安全就業の心得（みんなで守ろう10ヵ条）

①常に健康な状態で就業しましょう。
②十分に睡眠を取りましょう。
③仕事に適した服装・履物・保護具を着用すること。
④作業の前は準備運動をしましょう。
⑥年齢を考慮して絶対に無理をしないこと。
⑦仕事は急いだり、あわてたりしないこと。
⑧就業の場は整理整頓を心がけよう。
⑨お互いに声かけ合って安全作業。
⑩交通事故にあわないように気をつけよう。

平成26年度第一回刈払機安全講習会研修者
平成26年5月15日(木)

NO	会員番号	氏　名
1	1494	新　垣　成　建
2	1604	比　嘉　義　光
3	1070	上　原　英　俊
4	1376	金　城　正　剛
5	1681	有　馬　光　正
6	1722	染　井　峯　一
7	1721	染　井　百合子
8	1729	玉　城　秀　次
9	1727	新　垣　勝　司
10	1723	大　城　正　雄
11	1682	濱　川　松　三
12	1543	島　袋　盛　助
13	1471	金　城　秀　盛

第一回刈払機講習会の実習風景

第一回刈払機講習会実習生
（シルバー正会員）

安全就業標語作品

＊思うほど上がらぬ足にご用心
＊自転車は軽い乗り物重い事故
＊安全はシルバーみんなの合言葉
＊安全は急がず慌てず気を抜くな

2013年7月号（月刊シルバー引用）

さらなる安全就業目指して

安全就業推進員　宮城　力

私は、平成十二年度から平成十四年度までの三年間、当シルバー人材センターで勤務しておりました。あの頃は、シルバー人材センターの仕事の内容について、右も左も分からないなかで、当時の職員や会員の皆様には大変お世話になり、心から感謝しております。

近年全国のシルバー人材センターで、重篤事故が相次ぎ、全国の各シルバー人材センターは安全就業に取り組むことになり、安全就業基準不履行会員や事故を起こした会員に、反省を促すペナルティ制度ができたことから、局長から安全就業推進員が必要である旨の相談を受け、一度はお断りしましたが、局長の熱意と、前回お世話になった会員皆さんの一助になればと思い、本年四月から安全就業推進員という重大な役目を仰せつかって当局に戻ってきました。安全就業の手引き書では、第一に就業現場の巡回を行い、作業を中断して、安全就業について簡単なミーティングを行うよう書いてあります。しかし、就業現場に行くと中断をして行うのは疑問に感じ、巡回の時に休憩時間であれば声かけを行うほうが、より安全であると思われたので、これからもそのように実施していきたいと思っております。今までの当センターの事故状況を把握するために、平成二十四年度・平成二十五年度の事故の分析をしてみますと、昼食前の十一時から十二時の間と午前の就業はじめ、及び、昼食後の就業はじめの時間帯に集中しており、両年度とも同じ傾向であった。これは、早く終わって昼食をとりたいと、はやる気持ちと気のゆるみが集中力を低下させたものと考えられる。これらのことをふまえ、会員一同が初心にもどり、安全手帳を読みなおし、平成十四年度安全就業で全国表彰を受けた糸満市シルバー人材センターを目指して、班長や職員及び安全推進員を中心に、「事故ゼロ」何よりも「安全第一」を、合言葉に、朝礼、体操、就業現場でＫＹ（危険・予知）ミーティングを実施し、会員全員で安全就業を目指して行きましょう。

気をつけよう！熱中症

熱中症を引き起こす主な条件

<環境>
- 気温が高い
- 湿度が高い
- 風が弱い
- 日差しが強い
- 急に暑くなった
- 照り返し、輻射熱が強い

<からだ>
- 激しい労働や運動によって体内に著しい熱がたまる
- 暑い環境に体が充分に対応できていない

どのような場所でなりやすいのか

高温、多湿、風が弱い、輻射源（熱を発生するもの）があるなどの環境下

工事現場、運動場、体育館、一般の家庭の風呂場や気密性の高いビルやマンション、窓を閉め切った車中など

どのような人がなりやすいか

- 脱水症状のある人（寝不足や欠食時、前の晩の飲酒など）
- 高齢者、幼児
- 肥満の人
- 過度の着衣
- 普段から運動していない人
- 暑さに慣れていない人
- 病気の人、体調の悪い人

▶▶▶ 猛暑を乗り切る為の３箇条 ◀◀◀

＜１＞汗をかいたら…塩分を含んだ水分補給をしましょう
＜２＞熱を下げる…首や太ももの付け根を冷やすと効果的です
＜３＞扇風機や除湿器を活用し室温 28℃湿度 70%以下にすること。

特定健診を受けよう

① 健診はなぜ受けるの

生活習慣病やその予備軍を見つけ、予防する為です。生活習慣病は血液検査で分かります。

② 今、病院に通っている人も受けられます

健診では無料で生活習慣病に関わる検査をします。

③ 検診の受け方 特定健診（長寿健診、一般健診）

受診券を使って個別健診（病院へ予約して）又は集団健診（公民館や改善センター等で）受診します。

毎月第2土曜日は市民・美化清掃ボランティア

慰霊の日に向けて 平和祈念公園 美化清掃実施

今年は戦後69年目、６月23日の慰霊の日を前に 、市民ボランティア美化清掃が、摩文仁の平和祈念公園で行われました。雨の中、当センターからも会員66名と事務局職員４名が参加しました。

～急がずあわてずに～

美しく刈り払いされた公園

時おり降る雨ニモマケズ

丁寧に清掃をするシルバー会員

事務局職員紹介

事務局長	成田	一夫
主任	金城	直樹
業務担当	金城	清栄
〃	金城	竜也
経理補助	新垣	奈央
安全就業推進員	宮城	力

清掃前の朝礼風景

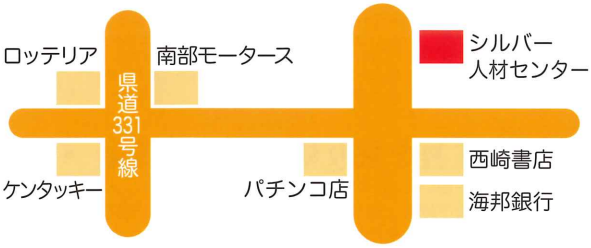
編集後記

今年は戦後69年、6月23日（慰霊の日）、沖縄戦没者追悼式が摩文仁の平和祈念公園で執り行われました。平和の礎には幅広い年代の遺族が訪れました。今も沖縄には74％の米軍基地が集中し、米軍基地から派生する騒音や事件、事故が後を絶たない現状であります。石垣市立真喜良小学校３年増田健琉君の平和の詩「空はつながっている」は心地よい平和への印象を抱かせてくれました。

シルバーだより新名称は「がんじゅう」に決定。

「がんじゅう」は漢字の「頑丈」。よく使われる当て字の「願寿」とも解します。表紙タイトルの揮毫はシルバー賛助会員書道愛好会の大城幸子さんです。

シルバー会員募集 Tel992−1007

＊毎月５日 入会説明会あり

シルバー人材センターに入会して、これまでに培った経験を活かして地域のために役立ててみませんか。糸満市に居住する健康で働く意欲のある60歳以上の男女が対象です。